

■小原国芳 教育家。全人教育を唱え、成城学園町を開発後、さらに理念実現に向けて玉川学園を創設し、長期にわたって実践。

おばらくによし

国民之友始・1887＝ 鹿児島県坊津町で7人兄弟の三男に生まれる。

帝国憲法発布1889＝ 2歳：

父は花相撲で横綱を張ったほどの偉丈夫で、西南戦争で官軍に捕らえられ、恩赦で帰郷したが、金山に手を出して失敗、赤貧の中ヤケ酒に溺れ、裁縫やハタ織を教える塾を開いて家計を支えた母を追いまわしていた。父からスパルタ教育を受け、母を手伝いながら、かつて寺子屋の師匠をしていた祖父の影響を受けて育ち、村の計らいで、父が区長の仕事についての、

日清戦争始・1894＝ 7歳：

日清戦争終・1895＝ 8歳：

白馬会・・・1896＝ 9歳：高等小学校に進学後、

子規句歌革新1898＝11歳：母が過労で死去。

Bushidou・・・1899＝12歳：苦学の後、鹿児島の電信学校に入学、

ピア/国産化・1900＝13歳：卒業して、国際通信を支える大浜電信局の海底電信技手となる。この年、父も死去して、多くの借金を抱えた兄弟だけの苦闘が始まる。

新聞に出ないような情報にも接するうち、

日露戦争始・1904＝17歳：鹿児島本局での研修生に選ばれるも、開戦となって大浜で通信兵として従軍。

日露戦争終・1905＝18歳：電信局が大根占に移転、下宿先の娘の家庭教師を務めるうち、その兄の事件で娘が女子師範を目指すようになったのに影響され、自らも高給を棒に振って鹿児島師範に入学。そこでキリスト教会を知り、生涯の指導者・ミス・ランシングと出会い、もう一人の恩師・尾島真治牧師から受洗した。

この間、兄弟で借金返済に努めるも叶わず、遂に故郷の土地を手放して、一家で鹿児島へ移住。

伊藤博文暗殺1909＝22歳：広島高等師範に入学する一方、一生の心の傷となった入り婿問題が起こり、鱈坂姓となる。

明治天皇没・1912＝25歳：

大正政変・・・1913＝26歳：

第一次大戦始1914＝27歳：*卒業して香川師範へ赴任し、全人教育の実践が始まる。{修養団}の香川支部を創設。

21ヶ条要求・1915＝28歳：入り婿となった妻が高松へきて同居、娘が誕生するも、愛無き仲から逃れるべく、

念願の京都帝国大学哲学科に入学し、西田幾多郎・小西重直に師事、波多野精一とは生涯の縁を結ぶ。

ロシア革命・1917＝30歳：

本格政党内閣1918＝31歳：卒業に際してその後の進路に迷ううち、卒論のため読んでいたフレーベルの日記の一節で開眼、広島高師付属小学校に赴任、全人教育の具体化に向けて、貴重な体験を積む。

ベル仁条約・1919＝32歳：再び、{全国初等教育研究大会}の総元締めを勤め、そこでの講演が反響を呼んで、講演行脚が始まり、鹿児島師範の先輩が卒業論文を本にして出版してくれ、爆発的に売れる。"学校劇"を始めて全国へ普及させる。

大暴落・・・1920＝33歳：周囲の反対を祖母の後ろ盾で押し切り、ミッションスクール教師だった高井信子と再婚。

原敬首相暗殺1921＝34歳：{八大教育講演会}で「全人教育」を発表。「学校劇論」を刊行、全国的ブームを呼ぶが、積極的に取り入れた教諭らが文部省弾圧の対象となる。

関東大震災・1923＝36歳：

護憲三派圧勝1924＝37歳：_新キャンパスの土地を求めると、小田急線の開通を予言した本間俊平に出会い、現在の地に決定。

円本時代始・1926＝39歳：_実際小田急線ができることになり、小田急や地主と交渉、宅地開発と併せた学園町の建設を開始。

金融恐慌・・・1927＝40歳：成城高校を創設し(その第一回生大岡昇平は後に小原の全人教育に感謝した)、

共産党事件・1928＝41歳：成城高等女学校を創設して総合学園が完成、小田急線が開通する一方、沢柳政太郎が死去。後を託され、

{成城学園}各校長事務取り扱いとなる。ミス・ランシングが"一人の小原を育てたことで奉仕生活が報われた"の言葉を残して帰米。しかし、成城高校が自らの理念と離れて大学予備校化するなどしたため、丹波の天理教布教師養成所を見学してその影響も受け、講談社の野間清治からの支援を受けて、

*武蔵野の地に成城の場合と同じ開発方式で{玉川学園}を創立。以後、没するまで園長・総長を務め、

海軍軍縮条約1930＝43歳：スイスのスキー第一人者・シュナイダーを招く一方、突然訪れたスイス人・チンメルマンと出会い、

満州事変・・・1931＝44歳：最初の欧米旅行に出、ベルリンで大講演会。デンマーク体操の権威・ニールス=ブックを日本に招いた。

五一五事件・1932＝45歳：_ライフワークとして百科辞典事業に取り組み、第一弾の児童百科全30巻を刊行し、大成功。

国際連盟脱退1933＝46歳：_兼務していた成城学園の反小原派から横領で訴えられ、辞職。生徒からは留任運動が起こり、不起訴。

二二六事件・1936＝47歳：海軍兵学校長の永野修身の要請で、講演するとともに、兵学校教育について建築。

日中戦争始・1937＝50歳：

健保+総動員1938＝51歳：民間使節として渡米、非開戦の講演旅行。

日米開戦・・・1941＝54歳：_工科大学を併設するに当たって文部省の役人を買収した容疑で逮捕され、懲役3年執行猶予2年の判決を受け(興亜工大事件)、計画自体を反小原派に奪われて後の千葉工大となり、鶴沼学園やロサンゼルス分校も奪われた。

敗戦・・・1945＝58歳：

新憲法公布・1946＝59歳：_玉川大学を開校し、総合学園に発展させる。

樞東裁判決・1948＝61歳：かつて手放した故郷の土地を買い戻し、玉川学園久志高等学校を建設。

朝鮮戦争始・1950＝63歳：

独立回復・・・1951＝64歳：_「学習百科大辞典」全32巻・「玉川子ども百科」全30巻を刊行。

TV放送始・・・1953＝66歳：_「玉川児童百科大辞典」全30巻を刊行。

55年体制始・1955＝68歳：戦後初めて海外旅行、チンメルマンの案内でヨーロッパ各地を講演旅行後、南米へ廻って日系人を激励。

美智子妃・・・1959＝72歳：

安保闘争・・・1960＝73歳：国際大学協会総会出席のためメキシコを訪問し、メリダ大学の意気に感じて、

タイタイ病始・1961＝74歳：野口英世の銅像を寄贈。学園生とともに招待されて、メキシコを再訪、日本文化舞踊演劇公演会を開催。

TV宇宙中継始1963＝76歳：_「百科辞典事業の集大成」玉川百科大辞典」全30巻を刊行し、毎日出版文化賞。「小原国芳全集」刊行開始、

美濃部都知事1967＝80歳：_「玉川児童百科大辞典」を刊行。

震ヶ関ビル・・・1968＝81歳：国際文化振興会の後援で、舞踊演劇団が日本代表としてベルリン公演、引き続きヨーロッパ各都市を廻って、大反響を呼ぶ。

大阪万博・・・1970＝83歳：_さらに、「玉川新百科」全10巻を刊行して、

JALハイジャック・・・1977＝90歳：_没した。没後、「小原国芳全集」全48巻が完結。「教育の根本的問題としての宗教」など著書多数。

南日本新聞社「教育とわが生涯・小原国芳」、平凡社百科事典、「目でみる日本人物百科」、